

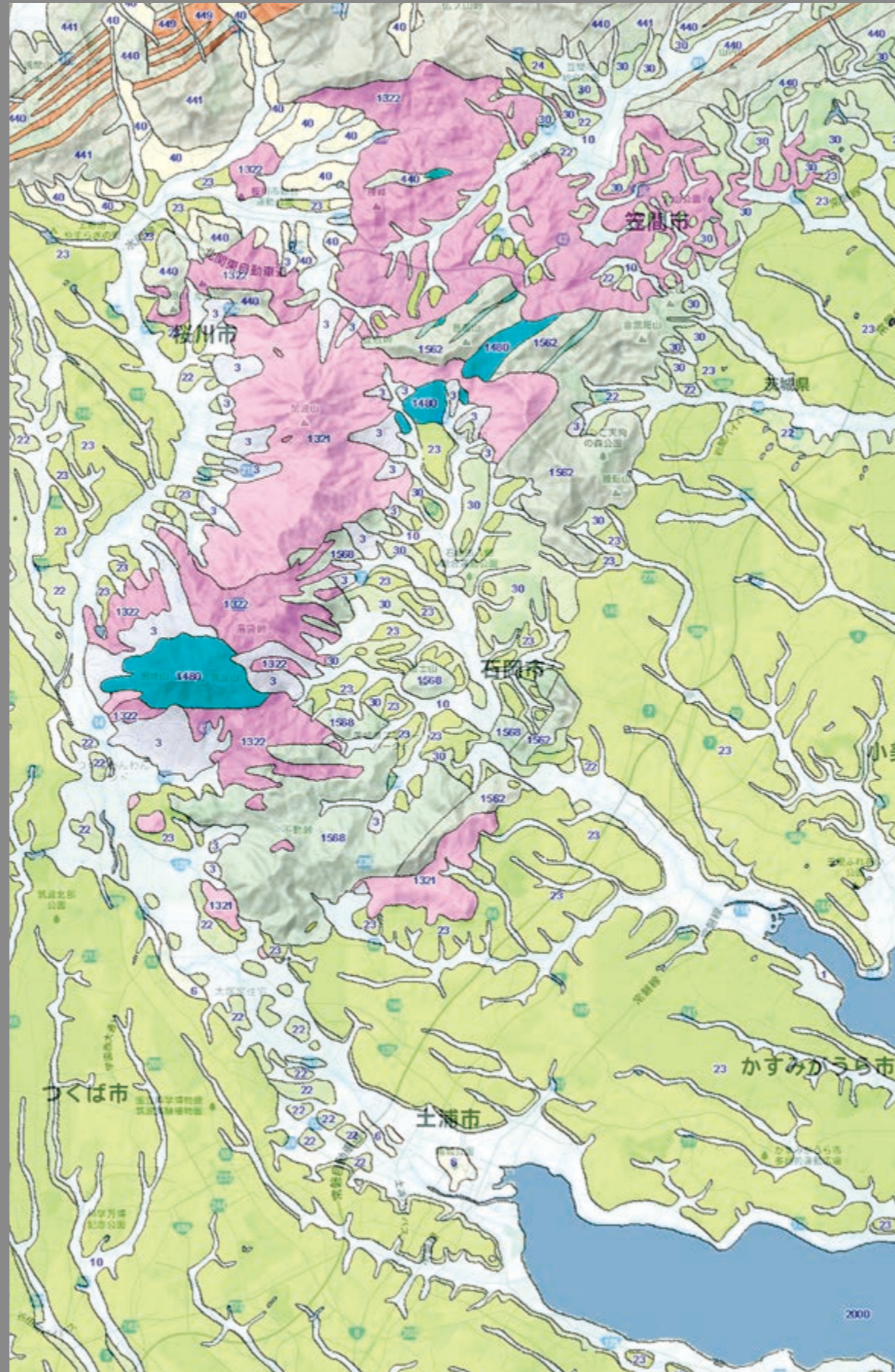
筑波山地域 ジオパーク構想

Mt.TSUKUBA AREA GEOPARK

地球の息吹を体感しよう

ジオパークとは、ジオ（地球、大地）を学び楽しみ保全する自然公園です。筑波山や周辺の山体は、今から7千5百万年前に地下深くのマグマから生まれ、その後悠久の時間の中で、氷河の時代を経て地表ともども削られ、現在の美しい地形が形作られました。最後の氷河が溶け去った後には、今よりずっと海が迫っており、現在の東京湾となる海岸は霞ヶ浦の北まで来ていたという歴史も持っています。一方、筑波山の花崗岩は、江戸時代から石材として筑波地域だけでなく広く国内各地で利用されてきました。さらに花崗岩が風化した粘土（マサ）を陶器原料として、江戸中期には笠間焼が興り、現在ではさらに焼き物文化が広がっています。

日本百名山に数えられ、『西の富士、東の筑波』と称される筑波山は、霊峰として山自体がご神体とされています。その筑波山を境内とし3千年の歴史を有する筑波山神社を始め、周辺の地形や歴史文化遺産などは一見の価値があります。常陸国風土記には神々の記述とともに、この地域の新治・筑波・信太・茨城に四郡に記され、万葉集には筑波山の歌が多く詠まれているなど長い歴史と独自の文化が息づいており、まさに地質から育まれた自然と文化の融合といえるものです。



筑波山地域 ガイド マップ

このジオパークは、以下の6種類の岩石や地層で構成されています。

1億5000万年前：大陸の縁に溜まった地層の変成岩

7500万年前：地下深くに貫いたはんれい岩のマグマ

6000万年前：地下に広がった膨大な花崗岩のマグマ

10万年前：古東京湾が広がった時の堆積物

2～3万年前：氷河時代に川が谷を刻んだ時の堆積物

1万年前：縄文時代に再び海が入ってきた時からの堆積物



●アクセス

🚗 車を利用

●東京から
首都高速～常磐自動車道～【土浦北IC】～国道125号～県道14号～県道42号

●成田から
国道408号～国道125号～県道14号～県道42号

●水戸から
常磐自動車道～【土浦北IC】～国道125号～県道14号～県道42号

🚆 鉄道・バスを利用

●秋葉原から
つくばエクスプレス→【つくば駅】→筑波山シャトルバス【神社入り口】→【つつじヶ丘】

●上野から
JR常磐線→【土浦】→路線バス【筑波山口】→徒歩【沼田】→直行筑波山シャトルバス【つつじヶ丘】

●水戸から
JR常磐線→【土浦】→路線バス【筑波山口】→徒歩【沼田】→直行筑波山シャトルバス【つつじヶ丘】

●お問い合わせ

筑波山地域ジオパーク推進協議会 事務局
つくば市国際戦略総合特区推進部 科学技術振興課 内
〒305-8555 茨城県つくば市刈間 2530 番地2 (研究学園D 32 街区2)
電話：029-883-1111
※受付時間：月～金 9時～17時 (祝休日を除く)
ホームページ：<http://tsukuba-geopark.jp/>
フェイスブック：<http://www.facebook.com/Tsukubageopark>
メール：geo298@info.tsukuba.ibaraki.jp



